知事盃ゴルフ

林（宇都宮）72で初の女王

2位加藤（那須塩原）、3位五十木（足利）

クイーンズの部

第59回県知事盃争奪ゴルフ大会（県ゴルフ連盟、県ゴルフ場協議会、下野新聞社主催）は17日、さくら市のセブンハンドレッドC（5825ヤード、パー72）でクイーンズの部決勝が行われ、林美由樹（宇都宮）がパープレーの72で初優勝を飾った。

同部門は50歳以上の女性が対象。曇り、微風と絶好のコンディションの中、予選を勝ち抜いた103人が出場。長い距離と難度の高いグリーンに70台はわずか6人だった。

10番スタートの林は16、18番でバーディーを奪うなど前半を1アンダー35で単独トップに立った。後半は1、3番をバーディーで一時3アンダーとしたが、終盤5ホールで3ボギー。2位に1打差で逃げ切った。

初優勝した林の10番のティーショット＝セブンハンドレッドC、井上孝男撮影

2位は3日のミッドクイーンズの部で初優勝した加藤仁美（那須塩原）。アウトを36で2位グループにつけた。インは12番でバーディーを奪って1アンダーとしたが、12、15番でボギー。通算1オーバーの73で及ばなかった。3位には前回大会35位の五十木節子（足利）が74で食い込んだ。

加藤仁美

五十木節子

優勝4度を誇る鯉沼良美（東京）は10位、同3度の平野いずみ（同）は22位だった。

21日は高根沢町の県民ゴルフ場でジュニアの部決勝が行われる。

攻めるも後半に失速

○…ミッドクイーンズに続く連勝を狙った加藤仁美（那須塩原）。1打差及ばずの2位に「1オーバーはコースに負けたということ」と淡々と振り返った。

今回の顔ぶれから林美由樹が最も優勝に近い存在と予想。その読み通り、前半を1アンダー35で飛び出した。加藤は「2アンダーまでは伸ばしてくる」とみて攻めたが、後半のインで37と失速した。

クイーンズの最高成績は2017年、19年の3位。「過去最高の2位だったから、次は1位を目指して頑張る」と巻き返しを誓った。

東京・鯉沼良美（5度目の優勝を狙うも10位）「午後のスタート1番で4パット。上り15㍍のファーストパットをオーバーしてやらかしてしまった。時代は終わったかな」

大田原・森田洋子（ミッドクイーンズの部はプレーオフで敗れ2位。86の27位）「ドライバーはミスばかりで、シャンクも出て最悪。次の県女子ミッドも心配」

【クイーンズの部決勝】（5825ヤード、パー72）

0	①	林　美由樹	（宇都宮）	72（37-35）
＋1	②	加藤　仁美	（那須塩原）	73（36-37）
＋2	③	五十木節子	（足　利）	74（38-36）
＋5	④	関谷　弘子	（那須塩原）	77（40-37
	⑤	村山　京子	（埼　玉）	77（35-42
＋6	⑥	小森　幸恵	（矢　板）	78（39-39
＋8	⑦	[illegible]	[illegible]	80（41-3
	⑧	[illegible]	[illegible]	80（41-3
	⑨	[illegible]	[illegible]	80（38-4
＋9	⑩	鯉沼　良美	（東　京）	81（43-3
	⑪	[illegible]	[illegible]	81（38-4
＋10	⑫	[illegible]	[illegible]	82（44-3
	⑬	[illegible]	[illegible]	82（43-3
	⑭	[illegible]	[illegible]	82（41-4
	⑮	[illegible]	[illegible]	82（40-4
＋11	⑯	[illegible]	[illegible]	83（42-4
	⑰	[illegible]	[illegible]	83（42-4
	⑱	[illegible]	[illegible]	83（42-4
	⑲	[illegible]	[illegible]	83（41-4
	⑳	[illegible]	[illegible]	83（40-4
＋12	㉑	[illegible]	[illegible]	84（45-3
	㉒	平野いずみ	（東　京）	84（42-4
	㉓	[illegible]	[illegible]	84（41-4
	㉔	[illegible]	[illegible]	84（40-4
＋13	㉕	[illegible]	[illegible]	85（43-4
	㉖	[illegible]	[illegible]	85（43-4
＋14	㉗	森田　洋子	（大田原）	86（45-4
	㉘	[illegible]	[illegible]	86（43-4
	㉙	[illegible]	[illegible]	86（43-4
	㉚	[illegible]	[illegible]	86（42-4
	㉛	[illegible]	[illegible]	86（40-4
	㉜	[illegible]	[illegible]	86（39-4
＋15	㉝	[illegible]	[illegible]	87（42-4
	㉞	[illegible]	[illegible]	87（42-4
＋16	㉟	[illegible]	[illegible]	88（47-4
	㊱	[illegible]	[illegible]	88（44-4
	㊲	[illegible]	[illegible]	88（43-4
	㊳	[illegible]	[illegible]	88（41-4
＋17	㊴	[illegible]	[illegible]	89（45-4
	㊵	[illegible]	[illegible]	89（45-4
	㊶	[illegible]	[illegible]	89（45-4
	㊷	[illegible]	[illegible]	89（44-4
	㊸	[illegible]	[illegible]	89（42-4
＋18	㊹	[illegible]	[illegible]	90（47-4
	㊺	[illegible]	[illegible]	90（46-4
	㊻	[illegible]	[illegible]	90（45-4
	㊼	[illegible]	[illegible]	90（45-4
	㊽	[illegible]	[illegible]	90（44-4
	㊾	[illegible]	[illegible]	90（44-4
	㊿	[illegible]	[illegible]	90（44-4

※同スコア順位は大会規定による。

ヒロイン

林　緊張はねのけ思い成就

ホールアウト後に初優勝を確信した林美由樹（宇都宮）。「いつもより緊張の連続」としつつ、「いつかはと狙っていた大会。うれしい」と表情を崩した。

緊張の理由は明らか。今大会は6度の優勝を誇る角田里子（宇都宮）、県女子社会人アマ、県女子ミッドアマなどを制している鈴木郁子（高根沢）が別大会出場のため欠場。その鹿沼CCの同僚2人から「優勝しなければ駄目」とプレッシャーを与えられていたからだった。

この日の林は前半を35で単独首位。後半も2バーディーで一時は3アンダーの「一人旅」状態だったが、5、8、9番でボギー。「（原因は）分からない。重圧かな」とし、「パットが入ってくれた」と14、15番のパーキープを優勝の要因に挙げた。

茨城県生まれ。高校卒業と同時に千成GCの研修生を5年。子育てから解放された50歳で本格的に競技ゴルフを始めた。2020年の知事盃と22年の県社会人女子アマで2位、21年の県女子ミッドアマ3位。上位の常連組にはなったが優勝にあと一歩届かなかった。

優勝スピーチではホームコースの研修会に感謝。そして「次は報知アマで頑張りたい」と全国の舞台を見据えた。（井上孝男）

大相撲　秋場所　10日目

若隆景早くも給金

大里10連勝、霧島2敗後退

大相撲秋場所10日目（17日・両国国技館）大関昇進を目指す関脇大の里は関脇霧島を寄り切り、10連勝で単独首位を保った。霧島が敗れて1敗勢がいなくなり、後続と2差に広がった。

両大関は琴桜が豪ノ山を寄り切って7勝目、豊昇龍は琴勝峰を押し倒して6勝目を挙げた。関脇阿炎は宇良のとったりに屈し、早くも負け越しが決まった。両小結は平戸海が6勝目、大栄翔は星が五分になった。

全勝の大の里を2敗で霧島、若隆景、錦木、高安の4人が追う展開。十両は千代翔馬と尊富士が1敗でトップに並んだ。

▽全勝　大の里
▽2敗　霧島、若隆景、錦木、高安

＝中入り後＝

高安　おしだし　錦富士
白熊　よりきり　武将山
阿武剋　よりきり　金峰山
北の若　つきたおし　佐田海
錦木　おしだし　輝
宝富士　よりきり　狼雅
一山本　よりきり　北勝富士
欧勝馬　はたきこみ　竜電
若隆景　つきおとし　遠藤
玉鷲　おしだし　美ノ海
湘南海　おしだし　翠富士
正代　おしだし　明生
若元春　よりきり　熱海富士
隆の勝　よりたおし　御嶽海
王鵬　ひきおとし　大栄翔
平戸海　よりきり　翔猿
大の里　よりきり　霧島
宇良　とったり　阿炎
琴桜　よりきり　豪ノ山
豊昇龍　おしたおし　琴勝峰

＝十　両＝

東白龍　はたきこみ　尊富士
大翔鵬　すくいなげ　欧勝海
白鷹山　おしだし　大青山
碧山　はたきこみ　英乃海
大奄美　うわてだしなげ　木竜皇
嘉陽　あびせたおし　伯桜鵬
友風　おしだし　志摩海
藤青雲　おしだし　島津海
朝紅龍　おしだし　玉正鳳
時疾風　おしだし　水戸龍
獅司　おしたおし　剣翔
千代翔馬　うわてだしなげ　紫雷

幕下三田初土俵勝ち越し

幕下最下位格付け出しで今場所初土俵の三田＝大田原市出身、黒羽高出、二子山部屋＝が勝ち越しを決めた。1番相撲で敗れてから4連勝と巻き返した。昨年の国体成年個人ベスト8の実績を持つ22歳のホープは「場慣れしてきた感じがある」と、うなずいた。

昨年12月に左膝の大けがを負ったが、順調に回復しているといい「あと2番あるので、しっかり勝ちにいく。来年には絶対、幕下上位にいたい」と力強く語った。

三田（右）が押し出しで琴大進を破る

白星黒星

○…白熊（新入幕で3勝目。連敗は5でストップ）「こんなに追い込まれたのは初めて。昨晩、やけ食いしたのが良かったのかな」

【西】
1 阿武咲★1⑤4
2 獅司 6－4
3 朝乃山★0⑩0
4 島津海 6－4
5 伯桜鵬 5－5
6 紫雷 5－5
7 水戸龍 4－6
8 白鷹山 4－6
9 妙義龍★0⑩0
10 藤青雲 6－4
11 尊富士☆9－1
12 木竜皇★2－8
13 千代栄★0⑥4
14 欧勝海 4－6

十両

【東】
代翔☆9－1
疾風 6－4
正鳳 4－6
摩海 3－7
奄美 3－7
乃海 3－7
[illegible]

白熊0（――――――）0阿武剋
北若0（―×―●――）1金峰
武将3（――○―○―）1宝富
錦富2（○――――○）1輝
玉鷲10（×××●××）10北富
一山4（―○●○○×）2竜電
佐海2（●××○×○）5翠富
遠藤9（××××―×）15高安
狼雅0（―●―●●×）3美海
若景4（―――――×）0錦木
明生0（――――××）0欧馬
正代1（×○●●××）2豪山
湘南0（××××××）0若元
御嶽4（×××××●）6翔猿
隆勝2（××●●×○）3王鵬
熱海1（×●×○●●）4平戸
阿炎6（○●●○×○）6霧島
琴勝0（―●××××）1大里
宇良4（○●●○●●）6豊昇
琴桜9（●○○○●●）7大栄

（数字は幕内対戦成績、×は対戦なし、ーは一方または両方が十両以下）

＝十　両＝

懸命な姿が多くのファンを引きつける。元関脇の若隆景が再入幕で11勝した先場所に

に

目されていた。順調な土俵人生は翌年春場所で暗転。右膝前十字靱帯損傷などの重傷を

サッカー　ACLE

横浜M7失点大敗

神戸引き分け発進

【光州共同】サッカーのアジア・チャンピオンズリーグ・エリート（ACLE）は17日に東地区の1次リーグが始まり、昨季ACL準優勝の横浜Mはアウェーで光州（韓国）に3―7で敗れた。序盤から先行され、エウベルの2ゴールなどで追い上げたものの守備が甘く大量失点した。J1王者の神戸は敵地でブリラム（タイ）と0―0で引き分けた。

ACLから刷新された大会は東西12チームずつの1次リーグ各8位までが決勝トーナメントに進む。決勝は来年5月。

川崎は18日に敵地で蔚山（韓国）と当たる。

横浜M―光州　試合終了間際、光州に7点目のゴールを決められた横浜MのGK寺門（中央）＝光州

悪夢のような再出発に

○…準優勝で涙をのんだ昨季ACL決勝から4カ月。悲願のアジア初制覇へ再出発した横浜Mにとって悪夢のような初戦だった。Kリーグ中位の光州に敵地で大量7失点し「前半の入りから球際で完全に負けていた」と上島。衝撃的なスコアにイレブンは肩を落とした。

守備の寄せが甘く前半15分までに2失点。荒れた芝で本来のパス回しが滞り、テンポが上がらない。同34分にエウベルが1点を返したが、後半は最悪の展開に陥った。

2―3で迎えた23分、連続攻撃をしのげずに2―4とされると、さらに速攻から立て続けに失点。終盤には、途中出場から間もないエドゥアルドが一発退場。2得点のエウベルは「自分のゴールは何の意味もなかった」と嘆いた。13日のJ1京都戦に出場した主力を温存する策も裏目に出た。

関甲新学生野球

白鷗大が4連勝

作新大白星遠く

関甲新学生野球秋季1部リーグ第4節は17日、新潟市のHARD OFF ECOスタジアムほかで5試合が行われ、県勢は白鷗大が山梨学院大を4―1で破り、開幕4連勝を飾った。作新学院大は平成国際大に1―3で敗れて4連敗。

白鷗大は1点リードの三回、牟田康平（福岡・大牟田）の中前適時打で1点を追加し、八回には牟田の2点適時三塁打でダメ押し。投げても松永大輝（東・東海大菅生）が4安打1失点で完投した。

作新学院大は2点を追う八回に1死満塁と攻め立てたが、相手のミスによる1点で終わった。